

大けやき

第 9 号
2.12.1
文責:校長

●12月のめあて

進んでよいことをしよう

本校のカリキュラムは、ふるさとを大切にする魅力溢れる教育がたくさんあります。その一つが、六年生が行っている、自分の卒業証書づくりです。他校にない素晴らしい取り組みです。地元の楮(こうぞ)の枝を切り出し、皮をはぎ、茹でて細かく碎き、紙漉きで紙を作ります。松山・吉志田地区特産の和紙作りを、今も当時のままに再現しています。



三つの新記録誕生、マラソン大会



一日(月)に校内マラソン大会を行いました。天候が心配されましたが、無事に競技することができました。全員が長い距離を苦しくても最後まで走り抜くことができました。

また、新記録が三つも出ました。二年生の原澄矢さんと伊藤紗子さん、四年生の上野慎之助さんです。役員としてご協力いただいた保護者の皆様、沿道で応援

全校朝会「特別な日って？」

してくださった保護者・地域の皆様に心から感謝いたします。閉会式では、教頭先生から「努力は裏切らない」との話がありました。四月から毎朝、校庭を走っていた児童の努力が実った結果だと思えます。当日の頑張りを、今後の生活にぜひ生かしてほしいと思います。

二十七日の全校朝会で、「特別な日」の話をしました。「特別な日はいつですか?」と言われたら、一年に一度しかない誕生日を答えるのが多いと思います。クリスマスや元日と答える人もいます。では、それ以外は、普通の日で、次の日が来ると

当たり前のように思っています。でも、今日という日は、一生に一回しかありません。どの日も二度とない、かけがえのない一日です。

新しい「山」の漢字を先生から教わった日も、六の段のかけ算九九を唱えた日も、話し合いで自分の考えにうなずいてくれた友達の真剣な表情を見た日も、自分が悪いことに気づいて「ごめんなさい」と誤ったときに、「分かっただよ。もう怒ってないよ」と握手した日も、お家でおうちの人と笑って、大好きなカレーを食べた日も、すべて特別な日と考えることができるでしょうか。毎日、毎日を特別な日と考えると、やる気十分に生きることができたら、とても幸せな生活を過ごせることができると思います。

花いっぱいコンクール奨励賞受賞



六日(金)、喜多方市花いっぱいコンクール表彰式が市役所で行われ、松山小は奨励賞を受賞しました。プランターや花壇に花を植え、毎朝水やりや草取りを行ってきたおかげです。また、特別養護老人ホーム、郵便局、公民館、河京などの地域の施設にも花を提供し、街の美化活動に取り組んできたことも評価されたようです。子供達の花を大切にしようとする心や責任を持って仕事をする姿勢は、とても立派です。早速、五年生が、花壇にチューリップの球根を植えてくれました。来年の春が楽しみです。

ゴミについて考えたよ

見学学習は、子どもが楽しみにしている学習です。四年生は、ごみ処理場を見学し、多くのことに気づきました。上野留花子さんは、「あのおいの所で働いたらどんな気持ちなのか考えてみたら、みんなルールを守ってほしい」と言う言葉が浮かんできました。だから、これからは、ルールを守ってリサイクルの袋に入れたいです。と、働く人の気持ちを想像しながら感想を書いていました。自分や家庭で出るゴミについて振り返り、量を減らしたり、使うかわらないかをよく考えて購入したりするなど、一人ひとりがどうすればいいのかを考えるよい学習となりました。

十二月の主な行事予定

- 学力テスト(国語) 一日(火)
- 学力テスト(算数)
- 職員会議(特別時程)
- 喜二中入学説明会(六年) 二日(水)
- 保護者個別懇談会(特別時程) 三日(木)
- 地区児童会 四日(金)
- 学期末大掃除 十日(金)
- PTA常任委員会 十一日(金)
- 児童集会ゲーム集会 十八日(金)
- 第二学期終業式(特別時程) 二十三日(水)
- ◎冬休み 二十四日(水)～一月七日(水)